

財政健全化

現時点で問題点や反省点は 事業計画協議に取り組んでいる



こまつ たかし
小松 孝年 議員

まる時期になってきているが現時点で問題点や反省点などはないか。

答 大西町長

問 財政健全化を進めるために7年度から3年間、予算総額縮減のために事業事業全般の見直しをし、予算編成にあたってスクラップアンドビルドを行って半年を経過した。来年度の予算査定が始

7年度の一般会計当初予算は縮減を図ったが、結果として依然として高止まりの予算となっており、4月から町長および企画調整室において事業効果に着目し、全事業の評価を厳しく行う事業総括表の作成および、管理職ヒアリングを行い、それ以降、各課との事業計画協議でスクラップアンドビルド（廃止と構築）の視点を持って進めている。今後、来年度の予算編成方針を10月末に通知し、予算査定は12月定例会議終了後に順次行う予定。現時点で問題点や反省点などの確認を行うまでには至っていないが、現在取り組んでいる事業計画協議の成果が確実に1年後予算に反映するよう、しっかりと取り組みを進めていく。

ふるさと納税

今年度の取り組みと見通しは 外部委託で寄附額のアップを

問 ふるさと納税は現在本町の財政状況を改善するための有効な手段であると思う、昨年の一般質問でふるさと納税を集める工夫を求めたが今年度の新たな取り組みと途中経過と見通しは。

答 秋森 産業推進室長

令和3年度をピークに減少傾向にあったふるさと納税については、役場職員で対応を図っていくには、手詰まり感が見える状況にあった。他の自治体において、専門的な業者に外部委託することにより、ふるさと納税の寄附額を延ばしている状況があり、本町においても、6月議会にて予算を補正し、専門業者に外部委託をすること

により、ふるさと納税の寄附額の向上を目指して取り組みを進めている。ふるさと納税の寄附額の途中経過については、今年度の目標額は15億円に設定しており、今年度の9月時点では、前年の13・5パーセント程度を増額している状況。今後の見通しについては、サイト内でのポイント制の廃止に伴う駆け込みに向けた対応を図っており、9月の増加が見込まれる。11月以降に予定しているふるさと納税版のクラウドファンディングの実施により、寄附額のアップが見込めるものと考えている。

